

弘前地区消防事務組合

HIROSAKI DISTRICT FIRE DEPARTMENT

消防士募集



Challenge Firefighter

2022 Edition

弘前地区消防事務組合 組織図

職員数：432人

消防本部

総務課	Administration Section	総務係 / 財政係
人材育成課	Human Resource Development Section	人事研修係 / 給与厚生係
警防課	Fire Suppression Section	警防救助係 / 救急係
予防課	Fire Prevention Section	予防係 / 調査指導係 / 危険物係
通信指令課	Command Section	通信統制係 / 情報管理係 / システム管理係

消防署（5署） Fire Station

弘前消防署	藤代分署 / 西分署 / 西北分署 / 目屋分署
東消防署	柘形分署 / 北分署 / 南分署
黒石消防署	田舎館分署 / 山形分署
平川消防署	碓ヶ関分署
板柳消防署	

弘前地区消防事務組合管内及び消防本部等配置図



出典：高機能消防指令センター導入時資料(NEC作成)

安心して職務に専念出来る給与待遇 (令和4年4月1日現在)

初任給	高卒	154,900円
	短大卒	165,900円
	大卒	188,700円

の他、各種諸手当があります。

災害出勤などにおける各種手当 (従事した1回分の手当)

危険作業	400円	地上10メートル以上の箇所における作業等
		4階以上のビル火災や危険物取扱所などの消火作業に従事した場合
		空気呼吸器を着装して人命検索又は化学防護服等を着装して作業に従事した場合
		潜水器具等を着用して潜水作業に従事した場合
		上記に掲げる作業と同等以上の危険性が認められるものなど
隔日勤務	250円	24時間勤務に職員が従事した場合
災害出勤	250円	火災、救急、救助及び各種災害防ぎよのために出勤した場合
機関	500円	消防自動車等の緊急走行運転業務に従事したとき
緊急援助隊等	1,680円	緊急消防援助隊の訓練参加や応援消防隊として災害出勤したとき
防疫	400円～ 4,000円	感染症等に対する救急、救助、移送などの業務に従事した場合
		特例として、日額支給の対象業務に従事した場合

生活における各種手当 (支給職員1人当たりの平均支給月額)

扶養	21,600円	配偶者及び子を扶養している職員
通勤	5,800円	通勤のため、その通勤方法により職員に支給
児童	19,200円	中学校卒業までの児童を養育している職員に支給
住居	25,000円	住宅を借り受け、一定額(12,000円)を超える家賃を支払っている職員
管理職	50,000円	管理又は監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給
寒冷地	15,000円	毎年11月から翌年3月までの各月の初日において在職する職員に対して支給

結婚・妊娠・出産・育児・介護に関する休暇制度

年次有給	20日	年間付与数
病气	90日	公務以外の負傷又は疾病のため療養
結婚	7日	職員の結婚
産前	8週間	出産予定日まで8週間の範囲内
産後	8週間	出産の日の翌日から8週間
配偶者出産	2日	妻の出産に係る入院等の付添い
看護	5日	中学校就学前の子を看護する場合
忌引	1～10日	親族が死亡した場合続柄等に応じて(配偶者は10日)
祭日	1日	父母、配偶者及び子の追悼のための行事
夏期	4日	6～10月の期間内
短期介護	5日	配偶者、父母、子、配偶者の父母等を介護する場合



消防士は、地方公務員です。

異動範囲は管轄内(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)だけなので、魅力ある自分のまちを守る消防士を目指せます!!

弘前消防のプロフェッショナル

消防隊



タンク小隊

車に水を積載しているので、火災現場でいち早く消火活動ができます。火災以外にもあらゆる災害に出動し、住民の生命と大切な財産を守っています。

化学小隊

薬剤を利用した消火も可能であり住宅火災のほか、水だけでは消えにくい危険物火災など猛火に最接近し立ち向かう小隊です。常に災害現場では最前線で活動します。

ポンプ小隊

火災現場へタンク車とペアで出動する車両です。消火栓や川などから吸水し火災現場直近で活動しているタンク車に絶えず水を送水することが主な任務です。

水槽小隊

5,000リットルの水を積載しながら機敏性抜群。市街地はもちろん、消火栓がない山火事、また生活用水として震災などでも大活躍する。動く「水源」として、絶えず水を送水します。

救助隊

特別救助隊

人命救助活動を主要な任務とする特別救助隊員。



高度救助隊

専門的・高度な知識や技術を有する高度救助隊員。



特別救助技術認定 (RESCUE)

人命救助活動を主要な任務とする、特別救助隊(レスキュー隊)として従事することができる技術認定。

特殊災害救助隊員 (HAZMAT)

身体に影響を与えるおそれのある物質や細菌類を原因とする災害、いわゆる「NBC災害」において、特殊災害活動を円滑に遂行するため救助隊員。

山岳救助隊員 (MOUNTAIN)

山岳地等において、道迷い、怪我、病気又は雪崩等の理由により自力下山ができない人の救助を専門とする救助隊員。

水難救助隊員 (WATER)

河川、濠及び池等の水域における水難事故において、水難救助活動を円滑に遂行する救助隊員。

高度救助技術認定(ADVANCED RESCUE)

人命の救助に関する専門的かつ高度な知識、技術を有し、高度な装備及び当該装備を積載できる救助工作車に乗車し、高度救助隊として従事することができる技術認定。



弘前消防のプロフェッショナル

救急隊



救急救命士

医師からの具体的な指示を受け、また家族への説明を行い同意を得たうえで、決められた医療行為を行います。医療行為については、気管内挿管、静脈路確保、薬剤投与等の処置が可能です。



指導救命士

救急救命士としての活動を通して培った経験や技術を踏まえて、救急隊員や救急救命士を教育指導する立場です。

特殊車両



はしご小隊

4階建て以上の高層建物での災害等に対応します。火災時など、ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動及び警戒活動を行います。地上40メートルまで対応します。

重機小隊

土砂災害、氾濫、倒壊建物などに先陣を切って突入。県内唯一の先鋭部隊です。大震災や集中豪雨、台風など出動エリアは全国で県外にも出動しています。

職員の派遣・各種研修会

各種災害の多様化等、消防を取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、弘前消防は住民の生命財産を守り、警防・予防・救急・救助等の各分野の充実強化を図るため、青森県消防学校・防災航空隊・総務省消防庁・青森県庁や各種研修に職員を派遣し、的確に対応できる人材の育成に努めています。



○青森県消防学校	○市町村研修	○救急救命東京研修所
初任総合教育(初任教育・救急科)	リスクマネジメント研修	救急救命士養成課程
救助科	ストレスケア研修	○救急救命士研修
危険物科	男女共同参画推進研修	指導救命士養成研修
中級幹部科	アンガーマネジメント研修	ビデオ喉頭鏡実習
火災調査科	法制執務研修Ⅱ	気管挿管病院実習
予防査察科	仕事段取り向上研修	生涯教育
特殊災害科	○その他派遣研修	○全国消防長会研修
災害対応力向上コース	東北自治研修所各研修	東北支部消防長研修会
○消防大学校(国)	市町村職員中央研修所	東北支部消防署長研修会
幹部科	予防調査技術会議研修会	東北支部法制執務研修会
救急科	山岳遭難救助研修会	○内部研修
警防科	陸上自衛隊化学学校	階層別研修
予防科	違反是正の推進に係る実務研修会	(新任消防士～消防司令)4階級
火災調査科	海上自衛隊大湊水中処分隊合同潜水研修	スキルアップ研修
新任教官科	消防・救急緊急自動車運転技能者講習	(採用後3.5.7.8年職員)
査察業務マネジメント	ハラスメント等相談窓口相談員研修会	消防長幹部講話
NBCコース	危険物保安技術講習会	違反処理(警告)研修会
女性活躍推進コース	全国消防・救急隊員シンポジウム	救急・救助業務検討会

隔日勤務形態（災害出動する消防隊、救急隊、救助隊など）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
当番日	非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日

消防署・分署・通信指令課では、4週間を1サイクルとして二交替制で勤務しています。一週間の平均勤務時間は38時間45分

														夜間勤務2時間									
8:30	9:00							12:00	12:45					17:30	18:30					22:00	6:00		8:30
交替	事務処理				昼食		教育訓練			夕食		事務処理			仮眠		起床		勤務終了				



勤務の始まりです。当番員と非番員が各任務を確認します。



各種災害に対応できるよう資機材等を使い訓練に励みます。



総務、警防救助、予防、救急係の各担当事務を行います。



指令後素早く出動し、被害を最小限にするため活動します。

消防士としての人生スタート

消防学校の1日

6:30	7:10		9:20		13:20			22:00	
起床 点呼	点呼 体操	朝食 授業準備	通常 点検	授業 座学中心			授業 訓練中心	課外活動(夕食・入浴・ トレーニング・自習)	就寝
6:40		8:30		12:10			17:10		

消防士に必要な基礎知識、技術を支える知識を幅広く学びます。

消防活動訓練や機器取扱い訓練等実践的な訓練を行います。





**女性消防士
活躍中！**

弘前地区消防事務組合

Hirosaki District Fire Department

採用試験に関する事は問い合わせ先：弘前地区消防事務組合 消防本部 人材育成課

TEL 0172-32-5109(平日の午前8時30分から午後5時まで)

TEL 0172-32-5101(代表)

〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

弘前地区消防事務組合ホームページ <http://www.hirosakifd.jp/>

